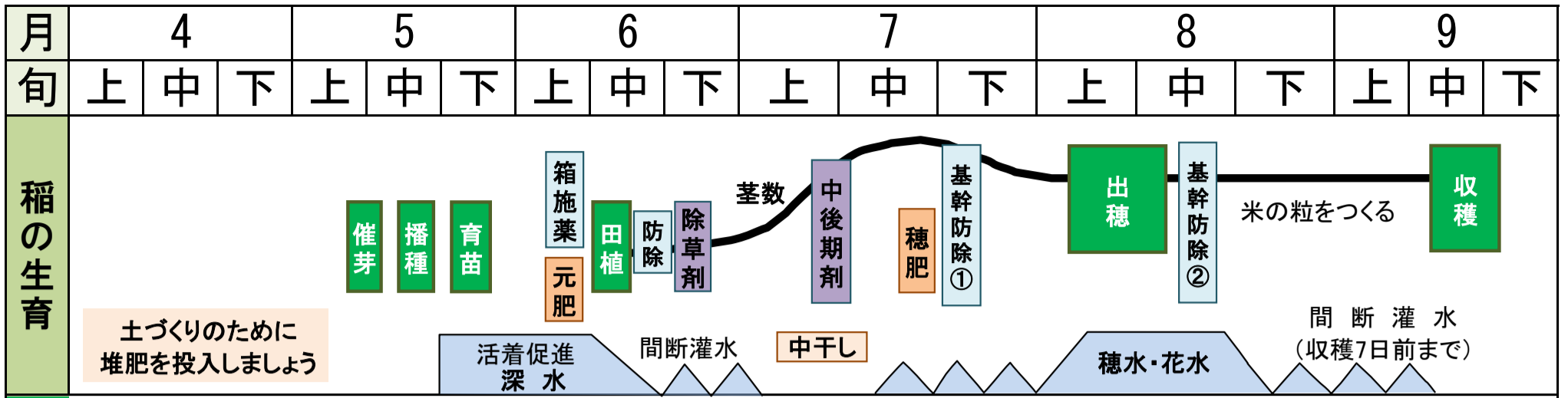


令和6年 なつほのか栽培暦

JAおおいた南部エリア tel:0972-25-1231
大分県南部振興局 tel:0972-22-1195



栽培上の注意点

播種 塩水選:うるち比重 1.13(塩:4.0kg/水:20L)
種子消毒:●テクリードC(50ml)+●スミチオン(10ml)/水:10L
播種:150~180g(催芽籾)/箱

田植 50~60株/坪
植付けは3~4本/株
株間18~22cmが目安

育苗 伸びすぎ注意!
播種3日後の苗
緑化と硬化は「ヒノヒカリ」より1~2日早く開始する

中干し 茎数が20本位になったら、田面に軽くヒビが入る程度に干す(ヒビの幅は約1cm以下)

出穂 赤丸部分の穂が「出穂」状態
ほ場の半分がこの状態なら「出穂期」
出穂後の積算気温1050℃以上
青籾は10~15%以下

収穫

施肥

一発肥料 ※施肥は、出来るだけ田植日近くにする
●苦土入りエムコート477 40kg/10a(90日タイプ) ※穂肥は散布しません

元肥 ●化成肥料10-16-16 40kg/10a

穂肥 ※出穂期の23日前
●化成肥料16-0-16 20kg/10a (16-0-16)

土づくりのために改良資材を投入しましょう

資材名	散布量(kg/10a)	特徴
珪鉄	100~200kg	鉄分・ケイ酸・苦土
ミネラルG		ケイ酸・鉄分・苦土
土改王	45~90kg	ケイ酸・カリ・苦土・リン酸

除草剤

初・中期 ●ウィニングラン(1キロ粒剤・ジャンボ) ※移植直後~ノビエ2.5葉期
●エンペラー(1キロ粒剤・ジャンボ・豆つぶ) ※移植直後~ノビエ3葉期

「ノビエ3葉期」は代かき後約10日で到達することがあります。散布適期を逃さず早めに散布しましょう!

移植後の除草剤散布のポイント
7日間はかけ流ししない! 間断灌水
2~3日田面が出ても除草効果に影響なし
自然な減水

中後期剤

- クリンチャーバスME ※イネ科・広葉雑草 ※移植後15日~ノビエ5葉期
- ドメMF(1kg・乳剤) ※イネ科雑草 ※移植後14日~ノビエ7葉期(粒剤は5葉期)
- クリンチャー(1kg・ジャンボ・液) ※イネ科雑草 ※剤形により効果の時期が異なります
- レプラス(1kg・ジャンボ) ※イネ科・広葉雑草 ※移植後14日~ノビエ4葉期

病害虫防除

箱施薬 ●スクラム箱粒剤 ※いもち病、紋枯病、ウンカ類、コブノメイガ等 ※は種時覆土前~移植当日

防除 ●スクミノン ※1~4kg/10a

基幹防除①

- ダブルカットバリダフロアブル ※いもち病、紋枯病、※穂ぞろい期まで
- エクシードフロアブル ※ウンカ類、カメムシ類 ※収穫7日前まで
- ゴウケツモンスター ※いもち病、紋枯病、ウンカ類、カメムシ類等 ※出穂5日前まで
- Zポルドー粉剤 ※稲こうじ病等 ※出穂10日前まで

基幹防除②

- ブラシキクラブフロアブル ※いもち病、カメムシ類 ※収穫14日前まで

いもち病 トビイロウンカ コブノメイガ スクミリンゴガイ

穂首いもち

ホソハリカメムシ クモヘリカメムシ トゲシラホシカメムシ イネカメムシ

箱施薬散布のポイント
田植え3日前には散布しましょう。早めに散布すると、稲が有効成分を十分吸収し効果を発揮できます。また、1箱当り50gを均一に散布し、葉への付着分を培土へ払い落とした後、灌水して薬剤を培土へ落ち着かせましょう。